

---

## 平成21年度紙製品製本専門委員会

---

平成 21 年 7 月 11 日(土) 於 大阪「四季の宴 つぼみ」

平成 21 年 7 月 11 日(土)午後 3 時 30 分より、大阪「四季の宴 つぼみ」にて開催された。出席者は東京工組 4 名、愛知工組 6 名、岡山工組 1 名、大阪工組 7 名の計 18 名。

大阪工組・坂東氏の司会で進行し、最初に鈴木博委員長より「本日はお集り頂き有難うございます。活発なご意見をお願い致します。」と挨拶があった。

続いて大阪工組・澤田政紀常務理事が挨拶「大手の自動車メーカーも輸出を控えるという事で、どの業界も大変な状況なのだと思う。今日は、率直なご意見をお願いしたい。」

更に愛知工組・飯島昇会長理事が挨拶「製本業界だけが悪いわけではない。仕事が減らないようにするには、どうしたらいいのか？今までの規模を維持するにはどうしたらいいのか？縮小出来るところは縮小し頑張りたい。専門委員会も、一年に必ず一回は開催して、気持ちの入った会を行ってほしい。」

最後に大阪工組・田中成和理事長が「業界全体が大変な状況だが、みなさん頑張ってください。」と挨拶を述べた。

続いて近況報告に移り、各工組より発表があった。

東京工組「隅田川の花火大会の時に皆さんと会ったが、一週間仕事がないという人もいた。お客様の問い合わせとして、個人情報保護制度を最低条件として、『Pマーク取っていますか？』と聞かれた。『取っていません』と答えると、他に何か取っておられますか？と聞かれたので『S A P P Sです』と答えると『わかりました』と納得してもらえた。

組合員脱会は、商業印刷部会が多いように思われる。紙製品はあまり脱会がないようだ。商業印刷部会に比べると紙製品はまだましではないだろうか？

7月8日から10日に行われた国際文具・紙製品フェアで、紙リングをカレンダー以外に活用できないか？と提案した。」

愛知工組「1月・2月が悪かった。3月・4月は例年通り。5月・6月はパートタイマーが半月以上も休んでいる状態。愛知は産業事態、仕事事態が減っている。」

岡山工組「10月の全国大会の準備で忙しくしている。

岡山は、製本の日というのを設けて、一般の人に手作りのノートを作ってもらったり、ノートを配布したりしている。岡山は大手出版社の業績が良く、以前よりは落ち込んではいるが、まだ恵まれている。」

大阪工組「大変な状態。しかし、そんな中でも、なるべくはっきりとした意見を言えるようにし、本腰を入れ、自己責任をもって頑張っていきたいと思っている。新型インフルエンザについても職場及び従業員の健康管理に注意をはらっていかなければならないと思っている。」

その他の意見

\*単価が下がっているので、低単価に巻き込まれないで、自社の単価を持たないといけないように思う。東京で断った大きな仕事が四国にいつてしまった。仕事が、東京から地方に流れている。

\*自社のロゴマークを作って商品につけようと頑張っている。ホームページも立ち上げた。

\*暇な時間を利用して、見本を作って印刷会社に営業に行っている。手の込んだ物を作ったりしている。いつ目が出るかはわからないが...

\*ファイル・バインダーは半減。内職仕事みたいな手作業の仕事はあるが、この状況をどうにかしたい。

\*箔押しは大変な状況。

ダブルリングは、すごく仕事が減っている。朝鮮から仕入れて製品化したりしているのかどうか、とにかくダメージが大きい。